1. 調 査 報 告 概 要 表

全体を通して（※このホームの優れている点、独自に工夫している点など）
グループホーム藤苑は,施設長及び,職員が認知症高齢者の個別ケアの重要性・必要性を強く認識し平成15年に開設された。仏教の説法にある『和顔愛語』を基本理念とし、ホーム職員は日々優しい表情と優しい言葉と親愛の心で入居者全員に接しており、認知症の症状緩和や進行の予防に努めながら一人ひとりのその人らしい尊厳ある姿を大切にして支援を行なっている。管理者は法人代表者から受け継がれた介護の精神に則り、より良い支援体制を構築しており、入居者・家族からの信頼を得ている。入居者の外出支援が充実していることや生活空間では思い思いに過ごせるスペースが確保されていることも注目される点であり、今後も入居者主役のホーム作りが積極的に展開されるであろうと期待される。

分野	特記事項（※優先順位の高い要改善点について）
Ⅰ 運営理念	要改善点はとくにない。管理者及び職員は運営理念を十分理解し具現化に努めている。
Ⅱ 生活空間づくり	要改善点はとくにない。広い環境空間の中で入居者は、明るい雰囲気の中ゆったりとした共同生活を送っている。
Ⅲ ケアサービス	要改善点は特にない。 理念に則ったきめ細かいケアサービスが提供されている。
Ⅳ 運営体制	注意の必要な物品の保管・管理について、薬剤は入居者の目にふれない手の届かない場所に保管され管理が徹底されているが、1ユニットに関し塩素系を含む洗剤類と刃物などは一般家庭と同様に保管されている。今後の入居者の事故防止に備え、保管場所の取決めについての検討が求められる。入居の決定のための検討については、自宅を訪問して家族や本人の話しを聞きながら現状を確認しており、入居に適しているかについて管理者・職員が協議検討する仕組みが整っている。

分野・領域			項目数	「できている」項目数 外部評価
Ⅰ 運営理念				
	①	運営理念	4項目	4
Ⅱ 生活空間づくり				
	②	家庭的な生活環境づくり	4項目	4
	③	心身の状態に合わせた生活空間づくり	6項目	6
Ⅲ ケアサービス				
	④	ケアマネジメント	7項目	7
	⑤	介護の基本の実行	8項目	8
	⑥	日常生活行為の支援	10項目	10
	⑦	生活支援	2項目	2
	⑧	医療・健康支援	9項目	9
	⑨	地域生活	1項目	1
	⑩	家族との交流支援	1項目	1
Ⅳ 運営体制				
	⑪	内部の運営体制	10項目	9
	⑫	情報・相談・苦情	2項目	2
	⑬	ホームと家族との交流	3項目	3
	⑭	ホームと地域との交流	4項目	4

2.　調　査　報　告　書　（判断理由・根拠欄省略）

項目番号 外部	項目番号 自己	項　目	できている	要改善	評価不能
		Ⅰ　運営理念　1. 運営理念の明確化			
1	1	○理念の具体化及び運営理念の共有	○		
2	3	○運営理念の明示	○		
3	4	○権利・義務の明示	○		
		2. 運営理念の啓発			
4	5	○運営理念の啓発	○		
		運営理念　4項目中　計	4	0	0
		Ⅱ　生活空間づくり　1. 家庭的な生活空間づくり			
5	6	○気軽に入れる玄関まわり等の配慮	○		
6	7	○家庭的な共用空間づくり	○		

項目番号 外部	項目番号 自己	項　目	できている	要改善	評価不能
7	8	○共用空間における居場所の確保	○		
8	9	○入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり	○		
		家庭的な生活環境づくり　4項目中　計	4	0	0
		2. 心身の状態にあわせた生活空間づくり			
9	11	○身体機能の低下を補う配慮	○		
10	13	○場所間違い等の防止策	○		
11	14	○音の大きさや光の強さに対する配慮	○		
12	15	○換気・空調の配慮	○		
13	17	○時の見当識への配慮	○		
14	18	○活動意欲を触発する物品の用意	○		
		心身の状態に合わせた生活空間づくり　6項目中　計	6	0	0

項目番号 外部	項目番号 自己	項　目	できている	要改善	評価不能
		Ⅲ ケアサービス 1. ケアマネジメント			
15	20	○個別具体的な介護計画	○		
16	21	○介護計画の職員間での共有	○		
17	22	○介護計画への入居者・家族の意見の反映	○		
18	23	○介護計画の見直し	○		
19	24	○個別の記録	○		
20	25	○確実な申し送り・情報伝達	○		
21	26	○チームケアのための会議	○		
		ケアマネジメント 7項目中　計	7	0	0

項目番号 外部	項目番号 自己	項　目	できている	要改善	評価不能
		２．ホーム内でのくらしの支援（1）介護の基本の実行			
22	27	○入居者一人ひとりの尊重	○		
23	28	○職員の穏やかな態度	○		
24	30	○入居者一人ひとりの過去の経験を活かしたケア	○		
25	32	○入居者のペースの尊重	○		
26	33	○入居者の自己決定や希望の表出への支援	○		
27	35	○一人でできることへの配慮	○		
28	37	○身体拘束のないケアの実践	○		
29	38	○鍵をかけない工夫	○		
		介護の基本の実行　8項目中　計	8	0	0

項目番号 外部	項目番号 自己	項　目	できている	要改善	評価不能
		(2)日常生活行為の支援 1) 食事			
30	43	○馴染みの食器の使用	○		
31	44	○入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○		
32	45	○個別の栄養摂取状況の把握	○		
33	47	○食事を楽しむことのできる支援	○		
		2) 排泄			
34	48	○排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○		
35	50	○排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○		
		3) 入浴			
36	53	○入居者一人ひとりの希望にあわせた入浴支援	○		
		4) 整容			
37	56	○理美容院の利用支援	○		

項目番号 外部	項目番号 自己	項　目	できている	要改善	評価不能
38	57	○プライドを大切にした整容の支援	○		
		5) 睡眠・休息			
39	60	○安眠の支援	○		
		日常生活行為の支援　10項目中　計	10	0	0
		(3)生活支援			
40	64	○金銭管理の支援	○		
		(4)ホーム内生活拡充支援			
41	66	○ホーム内の役割・楽しみごとの支援	○		
		生活支援　2項目中　計	2	0	0
		(5)医療機関の受診等の支援			
42	69	○医療関係者への相談	○		
43	74	○早期退院に向けた医療機関との連携	○		
44	75	○定期健康診断の支援	○		

項目番号 外部	項目番号 自己	項　目	できている	要改善	評価不能
		(6)心身の機能回復に向けた支援			
45	77	○身体機能の維持	○		
		(7)入居者同士の交流支援			
46	79	○トラブルへの対応	○		
		(8)健康管理			
47	81	○口腔内の清潔保持	○		
48	84	○服薬の支援	○		
49	86	○緊急時の手当	○		
50	87	○感染症対策	○		
		医療・健康支援　9項目中　計	9	0	0

項目番号 外部	項目番号 自己	項　目	できている	要改善	評価不能
		3. 入居者の地域での生活の支援			
51	91	○ホームに閉じこもらない生活の支援	○		
		地域生活　1項目中　計	1	0	0
		4. 入居者と家族との交流支援			
52	95	○家族の訪問支援	○		
		家族との交流支援　1項目中　計	1	0	0
		Ⅳ　運営体制 . 事業の統合性			
53	97	○責任者の協働	○		
54	98	○職員の意見の反映	○		
		2. 職員の確保・育成			
55	102	○入居者の状態に応じた職員の確保	○		
56	103	○継続的な研修の受講	○		
57	106	○ストレスの解消策の実施	○		

項目番号 外部	項目番号 自己	項　目	できている	要改善	評価不能
		3. 入居時及び退居時の対応方針			
58	108	○入居者の決定のための検討	○		
59	110	○退居の支援	○		
		4. 衛生・安全管理			
60	113	○ホーム内の衛生管理	○		
61	115	○注意の必要な物品の保管・管理		○	
62	117	○事故の報告書と活用	○		
		内部の運営体制　10項目中　計	9	1	0
		5. 情報の開示・提供			
63	119	○調査等の訪問に対する対応	○		
		6. 相談・苦情への対応			
64	120	○相談・苦情受付の明示	○		
		情報・相談・苦情　2項目中　計	2	0	0

項目番号 外部	項目番号 自己	項　目	できている	要改善	評価不能
		7. ホームと家族との交流			
65	123	○家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○		
66	124	○家族への日常の様子に関する情報提供	○		
67	127	○入居者の金銭管理	○		
		ホームと家族との交流　3項目中　計	3	0	0
		8. ホームと地域との交流			
68	128	○市町村との関わり	○		
69	131	○地域の人達との交流の促進	○		
70	133	○周辺施設等の理解・協力への働きかけ	○		
71	134	○ホーム機能の地域への還元	○		
		ホームと地域との交流　4項目中　計	4	0	0

※　(1)「管理者」には、管理者不在の場合にこれを補佐する者を含む。
(2)「職員」には、管理者及び非常職員を含む。